

2011年10月26日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

11月11日「介護の日」に JR岐阜駅、柳ヶ瀬などで 学生がバラの花を贈り啓発

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、11月11日の「介護の日」に、身の回りで介護をしている方へ感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を展開しています。このキャンペーンは学生を中心として毎年行っており、ことしで4年目になります。今年は、岐阜県、岐阜県社会福祉協議会、岐阜県医師会、岐阜県薬剤師会などから後援していただき、例年のJR岐阜駅での啓発活動に加えて、岐阜市の柳ヶ瀬わくわくステージ（岐阜高島屋前）やマーサ 21 マーサスクエアでもバラの花を贈る運動を広げます。特にマーサ 21 では、折り紙でのバラの花づくりや介護相談、ワークショップなどを予定しています。学内では、介護の日に先駆けて 11月7日より、関キャンパスにて「介護の日」展を開催します。県内の実習施設で行われている介護の様子を写真パネルで展示し、介護について理解を深める企画展となっています。（18日まで）

なお、啓発活動の参加者は、本学で介護福祉士などを目指して介護を学ぶ学生や教職員で、介護の日には約120人（うち学生100人程度）が参加する予定です。

記

【介護の日】バラを贈る啓発活動

- 日 時 2011年11月11日（木）午前10時～午後4時（詳細はチラシにて）
- 場 所 10:00-11:30 JR岐阜駅前オープンデッキ2階（岐阜市橋本町1）
14:00-16:00 A)柳ヶ瀬わくわくステージ（岐阜タカシマヤ前）
B)マーサ 21 マーサスクエア（岐阜市正木中1丁目2番1号）
- 参加者 中部学院大学 人間福祉学部 介護支援コース
同短期大学部 社会福祉学科、専攻科 120名（教職員含む）
- 提 唱 中部学院「介護の日」普及委員会
- 主 催 中部学院大学・中部学院大学短期大学部
- 後 援 岐阜県、岐阜県社会福祉協議会、岐阜県医師会、岐阜県薬剤師会、
岐阜生花市場協同組合
- 協 力 マーサ 21 岐阜劇場通り北商店街（柳ヶ瀬） 柳ヶ瀬あい愛ステーション

■ 経 緯

中部学院大学・同短期大学部では、介護の日に、身の回りで「介護」をしている方に感謝の言葉を添えて、バラの花を贈る運動を提唱しています。介護をしているご家族、介護でお世話になっている介護職の方など、日ごろから介護に頑張っている方々に、バラの花とともに感謝の言葉とエールを送りたいと思います。「母の日」や「バレンタインデー」のように、「介護の日」が人々の間に浸透していくことを願っています。「介護」を通して声を掛け合うことが、家族や社会の絆を深め、優しい社会を築くきっかけになると考えています。

【募金活動（学内外で実施）】

10月22日（土）たのしみん祭（関キャンパス）

11月3日（木）学びの森フェスティバル（各務原キャンパス）

11月11日（金）午前 JR岐阜駅オープンデッキ

午後 柳ヶ瀬わくわくステージ、マーサ21 マーサスクエア

※寄付金は、介護者に贈るバラの購入代、啓発活動の経費などに当てます。

【「介護の日」展】

■ 日 時 11月7日（月）-18日（金）

7日12時50分より、オープニングセレモニーを開催

■ 場 所 関キャンパス ピュアライブラリー

（関市桐ヶ丘二丁目1番地 電話 0575-24-2211）

■ 内 容 ② 学生手づくりの「介護の日」ポスターの展示

③ 介護施設から募集した写真、パンフレット、施設だよりなどの展示

④ フィリピン（海外研修）で実施した介護授業風景の紹介

⑤ ワークショップ（折り紙でバラの花をつくろう—などを計画中）

【介護の日】介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため、国は、2008年から毎年11月11日を「介護の日」と決めました。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部社会福祉学科（担当：飯尾学科長）TEL:0575-24-2211 E-mail:iio@chubu-gu.ac.jp